

みずほCustomer Desk Report 2022/02/04号(As of 2022/02/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.47
TKY 9:00AM	114.38	1.1298	129.22	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	114.99	1.1451	131.54	1.3565	0.7122
SYD-NY Low	114.33	1.1265	129.22	1.3628	0.7168
NY 5:00 PM	114.99	1.1439	131.54	1.3521	0.7111
				1.3599	0.7140
NY DOW	35,111.16	▲ 518.17	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	13,878.82	▲ 538.73	日本10年債	0.1700	0.00bp
S&P	4,477.44	▲ 111.94	米国2年債	1.2009	5.23bp
日経平均	27,241.31	▲ 292.29	米国5年債	1.6729	7.15bp
TOPIX	1,919.92	▲ 16.64	米国10年債	1.8351	6.45bp
シカゴ日経先物	26,960.00	▲ 515.00	独10年債	0.1515	11.90bp
ロンドンFT	7,528.84	▲ 54.16	英10年債	1.3740	12.30bp
DAX	15,368.47	▲ 245.30	豪10年債	1.8610	▲5.00bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.00	▲0.01%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.46	0.08%
NY金	1,804.10	▲ 6.20	USDJPY 6M Vol	6.65	▲0.03%
WTI	90.27	2.01	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	259.991	0.50	EURJPY 3M Vol	7.39	0.16%
ドルインデックス	95.38	▲ 0.56	EURJPY 6M Vol	7.65	0.31%

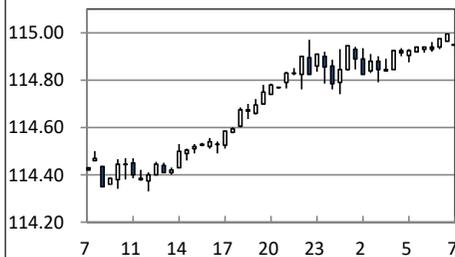
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
2月3日	17:55	独 マーケット(サービス業/コンボジット)PMI・確報	1月	52.2/53.8	52.2/54.3
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月	2.9%/26.2%	2.8%/26.1%
	21:00	英 BOE政策金利	3-Feb	0.50%	0.50%
	21:45	欧 ECB主要政策金利	3-Feb	0.00%	0.00%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	29-Jan	238K	245K
2月4日	23:45	米 マーケットサービス業PMI・確報	1月	51.2	50.9
	23:45	米 マーケットコンボジットPMI・確報	1月	51.1	50.8
	00:00	米 製造業受注(前月比)	12月	-0.4%	-0.4%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	12月	-0.7%	-0.9%
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	1月	59.9	59.5

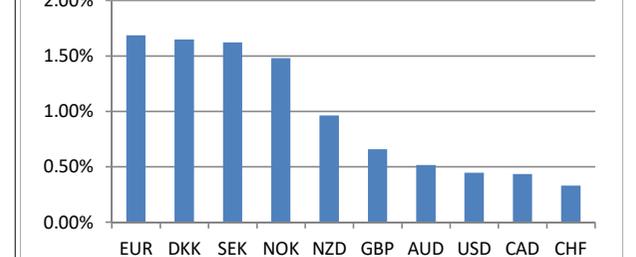
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
2月4日	16:00	独 製造業受注(前月比)	12月	0.3%	3.7%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月	-0.9%	1.0%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月	134K	199K
	22:30	米 失業率	1月	3.9%	3.9%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月	0.5%/5.2%	0.6%/4.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.60-115.30	1.1400-1.1475	131.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間に上昇する展開。BOEの政策金利の引き上げやECB理事会後のラガルド総裁の記者会見で、高インフレを指摘し、予想外のタカ派的な見解を示したことで、英・独金利上昇と共に米金利も上昇し、ドル円もじりじりと115円手前まで上昇。  
 本日のドル円は米雇用統計の結果待ちだが、東京時間は前日の流れから引き続き底堅い展開か。米雇用統計に関しては、事前にホワイトハウス当局者からオミクロン株の影響による欠勤が失業とカウントされ、失業者が実態より増加される可能性があるとして下振れ牽制発言もあり、弱い結果となっても反応は限定的か。但し、利上げ織り込みが行き過ぎており週末を控えて調整の余地があることには留意。

東京	東京時間のドル円は114.38レベルでオープン。ECB待ちの流れに値動きは限定的。114.33-114.55の22銭程度の幅幅にとどまり、114.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.55レベルでオープン。ドル円は上昇する米長期金利に連れ終始堅調推移、114.97まで上昇し114.86レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1294レベルでオープン。屋過ぎのECB理事会政策発表を控え動意薄。政策金利据え置きと発表されるとやや下振れ1.1265をタッチするが結局1.1292レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3553レベルでオープン。英正午に英中銀が政策金利を0.50%に予想通り引上げ、ポンドは素直に上昇。1.3628まで買われもみ合った後1.3579レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	114.86レベルでNYオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受給者数が発表されるも、予想範囲内の結果だったことからドル円は反応薄。その後発表された米1月ISM非製造業景況指数は予想を上回るも、ドル円の値動きは114.90を挟んだ狭いレンジでのみ合いに留まった。午後はユーロ円の上昇に連れ高となり、じり高推移。終盤に115円回復を試すも、上値は114.99に留まり、そのまま高値の114.99レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロは1.1300付近でスタートするが、米金利上昇が重しとなり1.12台後半まで下落。早期にECB理事会が発表され、予想通り政策金利の据え置きが伝わり、発表直後に1.1265まで下落するも、声明文に大きなサプライズは見当たらなかったためか売りは長続きせず、小幅値を戻し、1.1292レベルでNYオープン。朝方はラガルド ECB総裁が記者会見で「インフレは上振れ方向に傾いている」、「ECB理事会全体がインフレを懸念」と述べており、22年内利上げについて否定的な見方を示していた前回(12月)の会見と比べ効効派色が強まったとの見方から、イタリアやドイツの国債利回りが大きく上昇し、ユーロも買いが急速に強まり、約2週間ぶりとなる1.14台を回復。その後もユーロ全面高の流れが継続し、1.1451まで高値を更新。午後はユーロ買いが一巡するも、戻り売りも限定的だったため、1.14台ミドルで底堅く推移。終盤は小動きとなり、結局、1.1439レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大庭・松木